

公益財団法人宮崎文化振興協会

令和6年度 定時評議員会議事録

1. 日 時 令和6年6月25日(火) 午前9時53分～午前11時34分

2. 場 所 宮崎市宮崎駅東1丁目2番地7 宮崎市中央公民館 小研修室

3. 出席者 評議員現在数 5名 定足数 3名

評議員出席 永山英也 黒木貴 外山與子 以上3名

(定款第17条第2項の規定による定足数を充足)

理事出席 西田幸一郎 横山伸子 以上2名

監事出席 阪元裕一 酒匂俊宏 以上2名

同席者

(公財)宮崎文化振興協会事務局 次長兼経営戦略課長 東元慎吾他8名
計 16名

4. 議案 第1号議案 令和5年度事業報告について
第2号議案 令和5年度決算の承認について
第3号議案 理事の選任について
第4号議案 監事の選任について

5. 議長選任の経過

司会が開会を宣言した。次に、定款第17条第2項により会が有効に成立していることと、定款第20条第2項に基づき、出席した評議員と理事全員が議事録署名人になることを告げた。

続いて、議長については、定款第19条第4項により評議員で互選し、永山評議員が議長を務めることとなり、議長の進行により議案の審議に入った。

6. 議事の経過要領及びその結果

議長は、次の4議案について審議した。

(議案)

第1号議案 令和5年度事業報告について

第2号議案 令和5年度決算の承認について

議長の求めに応じて、第1号議案と第2号議案の説明が続けて行われた。

令和5年度事業報告及び決算の承認について事務局から説明があり、続いて酒匂監事より、会計処理が適正であり、財務諸表等が協会の財産及び損益の状況について、適正に示していると認める旨の監査報告、及び酒匂監事と阪元監事から総評があった。

また現在の監事は、税理士1名及び国富町又は綾町の会計管理者1名で構成されているが、近年は異動等により1年で交代している状況にある。新任の監事が各館の状況を把握するため、施設や帳簿を見ながら半期で監査を行い、6月の監査に臨んではどうかとの意見があった。

その後、本議案に関連して次の意見、質疑応答があった。

- (外山評議員) 大淀川学習館において宮崎市立宮崎北中学校の生徒と連携して行う、「絵本の読み聞かせ音楽会」について、生徒は部活動の取り組みとして行っているようだ。文化系の部活動は発表する場が少ないが、このような事業で館と中学校が上手く連携していると知って感慨深く思った。教育基本法が改正され、新しい文化の創造を目指す教育を推進することとなっているが、生徒が主体的に、思考力、判断力、表現力を培う教育を行うため、学校で教える教科が難しくなっていると感じる。この事業では、宮崎北中学校の生徒が主体的に活動しており、このような事業こそが生きた創造を育む教育なのではないかと思う。こういうことができるのは文化施設であり、他の館においても子ども達が主体的に関わるような事業が地域に広がるといいのではないかと考えるが、他館でも同じような取り組みがあるのか。
- (横山専務) 宮崎科学技術館では、「宮崎少年少女発明クラブ」を実施しており、そこでは、子ども達が主体的に自分で作りたいものを発明していく事業を行っている。
- (河野副館長) 宮崎市歴史資料館では、「レッツ！タイムワープ in 遊古館」において、昔の人々の生活を体験し、自立できる子どもを育てることを目的とした事業を行っている。
- (黒木評議員) 「プログラミング体験教室」を受講した子ども達からは、どのような感想が出ているのか。
- (塩月副館長) 本事業は、タブレットを使って簡単な操作でプログラミング通りにドローンやセンサーが付いたロボットを動かすことができる体験教室だ。決まった答えはなく、最適解を求めて子ども達がグループで学習する、非常に興味関心が高い事業だ。今年度は、昨年度の倍の人数を募集しようと考えており、目的を達成できている事業だと考えている。
- (黒木評議員) プログラミングは学校だけでは時間的に余裕もなく教えるのが難しい。科学技術館という環境や専門的な分野のノウハウを持った人が教えることで、興味のある子どもにとって、もっと魅力的な場所になるのではないか。また、「トワイライトミュージアム」は、大人向けに行うといいのではないか。
- (横山専務) 「トワイライトミュージアム」は、家族連れや大人も参加している。多目的室を開放し飲食できる環境を提供したり、キッチンカーを呼んだりして、楽しんでもらえる事業を考えている。
- (永山評議員) 今後は持続可能な文化施設の観点から、有料入館者数がどう動いているのか、全体の収益の中で入場料がどういう構成をしているのか、分析も含めて分かる資料作りをお願いしたい。宮崎市民プラザの「企画推進委員会」はどのようなメンバー構成なのか。また、委員会ではどのような意見が出ているのか。
- (羽木本館長) 委員会は、文化芸術団体の代表者、報道機関や宮崎大学の音楽関係の方等の10名で構成されている。若い世代へのアプローチを積極的に進めてほしいという意見や、小学校へのアウトリーチ事業を拡充してほしいとい

う意見があった。そのような意見を受け、今年度はアウトリーチ事業実施対象校に中学校を追加し、拡充する予定だ。

(永山評議員) 評議員会では、本日意見のあった自主的な学びの促進や専門的な学び、学校でできないことをどう取り組むかを含めて大所高所から考えていくべきだ。それにはそのような委員会でのような意見が出て、それをどう生かしていくのかをこの場で披露すれば、もっと有意義な議論ができると思う。

第1号議案は、報告事項であり審議を終えた。

第2号議案について、審議後、議長が諮ったところ、特段の異議もなく、満場一致で可決した。

第3号議案 理事の選任について

事務局から、理事全員が本定時評議員会の終結と同時に任期満了となるため、次期理事10名の選任について略歴をもとに説明があった。1名ずつ審議のうえ、議長が諮ったところ、特段の異議もなく、それぞれ満場一致で可決した。

(再任) 石本由美子 岩瀬智子 大館真晴 片野坂千鶴子 西田幸一郎
蓮子浩一 日高智子 横山伸子 横山秀樹
(新任) 森屋重吾

なお、任期は選任された日から令和8年度定時評議員会の終結の時まで。

第4号議案 監事の選任について

事務局から、監事全員が本定時評議員会の終結と同時に任期満了となるので、次期監事2名の選任について略歴をもとに説明があった。1名ずつ審議のうえ、議長が諮ったところ、特段の異議もなく、満場一致で可決した。

(再任) 酒匂俊宏
(新任) 日高佑二

なお、任期は選任された日から令和8年度定時評議員会の終結の時まで。

以上をもって議案の審議等を終了したので、午前11時34分に司会が閉会を宣言し、解散した。

上議決を明確にするため、本議事録を作成する。

なお、以上この議事録が正確であることを証するため、出席した評議員及び出席した理事は次のとおり署名する。

令和6年 6月 27日

公益財団法人宮崎文化振興協会 令和6年度 定時評議員会

議長
評議員

永山英也

評議員 黒木 貴

評議員 外山 與子

理事 西田 幸一郎

理事 横山 伸子